

会員だより

東京都交通局

2024年1月18日に都営バスは100周年を迎えました

都営バスは、2024年1月18日に100周年を迎えました。関東大震災により壊滅的な打撃を受けた路面電車を代替する乗り物として、1924年1月18日に営業を開始しました。



都営バス初期の乗り合いバス「円太郎バス」

線路が不要なバスは、時代や社会の変化に柔軟にえられるのが特徴の1つです。都営バスも、マイカーの普及や地下鉄等の整備による利用者の減少といった荒波を乗り越えつつ、生活に身近な東京の移動手段として発展してきました。

積極的に進めてきたのは、お客様の安全・サービスの向上と環境問題への対応です。1970年代には全国に先駆けて低床式バスを、1990年代には「超低床ノンステップバス」等を導入し、2012年度末には全車ノンステップバス化を完了しました。また、車内の更なるバリアフリーを追求するため、2018年12月に車内通路後方にある段差を解消したフルフラットバスの運行を日本で初めて開始しました。直近では、二人乗りベビーカーを折りたたまずご乗車いただける取扱いに挑戦。2021年6月に都営バス全路線で、二人乗りベビーカーでもそのままご乗車いただけるようになりました。この取扱いについては、都営バスでの取組を民間バス会社に共有し、現在では都内の大手路線バスのほとんどでベビーカーを折りたたまず乗車できるようになっています。

大気汚染が大きな課題とされてきた環境対策では、1991年の電気式ハイブリッドバスの導入を皮切りに、1994年に低公害車であるCNG(圧縮天然ガス)バスを導入。近年では燃料電池バスをいち早く取り入れ、73台(2024年1月時点)を運行しています。

100周年を迎えることができた感謝をお伝えするため、東京都交通局は様々なイベントを計画しています。まず、1月20日に都営バス100周年記念イベントを東京タワー屋外特設会場で開催しました。このイベントでは、都営バス旧塗装デザインを施したラッピングバスを10年ぶりに復活。歴代の塗装デザインや100周年オリジナルデザインを施したバス6台を展示した撮影会、特別ゲストを招いた記念セレモニーやシークレットバスツアーも実施しました。また、毎年イベントを開催している9月20日「バスの日」前後にも、100周年に関連した企画を検討しています。

今後とも、中長期的に安定した輸送サービスを提供し続けていくことが、我々の果たすべき責任と役割と認識し、安全・安心の確保を最優先に、質の高いサービスを提供するとともに、まちづくりとの連携や環境負荷の低減等を通じ、東京の発展に貢献していきます。

■都営バス100周年特設WEBサイト
https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/100th_anniversary/



〈問い合わせ〉
都営交通お客様センター
電話：03-3816-5700
営業時間：9時から20時まで(年中無休)